

衰退傾向にある地場産業集積の継続要因に関する研究

-和履き産業集積を事例として-

筑波大学大学院 システム情報工学研究科 経営・政策科学専攻
修士（公共政策）論文

平成 19 年 1 月 26 日

学籍番号 200520888

氏名 竹田英司 (Eiji Takeda)

論文指導教員

有田智一 (Tomokazu Arita)

A study on factors that affect the survival of a declining indigenous industrial cluster
-A case study of Japanese sandal industry cluster-

【要旨】

経済のグローバル化に伴い、日本の製造業における生産方法は大きく変化している。生産方法の変化と産業集積の変化は関連しており、地場産業の中でも日用消費財を生産する伝統的地場産業集積の大部分は低迷状態に陥っているといえる。

地場産業集積の長期的な変化の中で、リンケージ企業が誰から誰に替わり、どのように企業間取引が変化・継続し、どのようにイノベーションが形成されてきたのか、を明らかにし地場産業集積の継続要因を探求することが本研究の目的である。

産業集積の成長要因を議論した研究は多数存在するが、産業集積の継続要因を明らかにしたものは少ない。また既往の伝統的地場産業集積研究は、高付加価値生産や多品種少量生産への転化の必要性を指摘されているに過ぎない。

奈良県三郷町の和履き産業集積は一般的な伝統的地場産業集積とは異なり、集積内に産地問屋は存在しておらず、産地問屋の代わりに分業生産をマネジメントする製造企業が存在する。産地問屋に替わる製造企業の存在が、集積構造を維持している要因と何らかの因果関係があると考え、奈良県三郷町の和履き産業集積を研究対象とした。

面接調査、アンケート調査を実施し、各製造企業のイノベーション（新製品開発や製品改良、生産方法の改良や新生産方法の開発、販路開拓、経営構造改革、などの取り組みとその成果）を明らかにした上で、製造企業をいくつかのタイプに分類し、どのタイプが集積継続要因に関係しているのかを検証した。

1990年代以降、和履き製造企業は5つのタイプに多様化していく。5つのタイプの中でも、自社で新製品開発や独自販路を開拓する製造企業や問屋と協同で独自製品を開発する製造企業が製造工程の自社工程化、簡素化などの工夫を行い、新製品開発や製品改良に取り組んでいることが、和履き産業集積の継続要因であるといえる。

A study on factors that affect survival of a declining indigenous industrial cluster
-A case study of Japanese sandal industry clusters-

【Abstract】

With the globalization of the world economy, production methods of Japanese manufacturing industry change greatly. Changes of production methods and changes of industrial clusters are related. Most of traditional indigenous industrial clusters fall into a slump state.

The purpose of this study is to investigate the changes in the linkage companies, inter-firm transactions, and the processes of generating innovations in the long-term changes of indigenous industrial clusters, in order to search factors for survival of traditional indigenous industrial clusters in Japan.

Japanese sandal industry clusters are different from normal traditional local industry accumulation in the following points. First, there are not source wholesale dealers in the site of industrial cluster. There are makers instead which manage the division of production. Since such makers affects the sustainability of the Japanese sandal industry clusters in Sango-tyo in Nara prefecture, this study covers the cluster there.

By conducting interviews and questionnaire survey, I investigate innovation of each maker. Then makers are classified into several types and investigated so that we understand which type is related to a cluster continuation factor.

After 1990's, a maker diversifies in five types. Among the five types, there is a type of makers which originally develop new products, and also there is another type of makers which conduct new market exploration. There is also a type of makers developing new products in cooperation with wholesale dealers. These types of makers have contributed to the sustainability of Japanese sandal industry cluster in Sango-tyo.

【目次】

第1章 序章	1
1.1. 研究の背景と目的.....	1
1.2. 研究の意義.....	2
1.3. 既往研究.....	2
1.4. 研究の視点・研究の方法.....	6
第2章 研究対象	7
2.1. 研究対象の選定理由.....	7
2.2. 和履き産業概要.....	7
2.3. 流通経路と履物問屋の影響力.....	8
2.4. 大阪市御蔵跡集積概要.....	12
2.5. 奈良県上牧町集積概要.....	16
2.6. 奈良県三郷町集積概要.....	18
第3章 分析結果1：和履き産業集積におけるイノベーションと企業間の取引関係	20
3.1. 分析方法.....	20
3.2. 検証(1)：和履き製造企業と集散地問屋との取引関係.....	22
3.3. 検証(2)：和履き産業集積における分業生産体制.....	26
3.4. 検証(3)：和履き製造企業のリンケージ企業としての機能.....	33
3.5. 和履き産業集積におけるイノベーションと企業間の取引関係（まとめ）.....	34
第4章 分析結果2：開発主体別五分類	36
4.1. 開発主体別分類までのプロセス.....	36
4.2. 開発主体別五分類共通の特徴.....	37
4.3. 開発主体別五分類の各特徴.....	38
4.4. 開発主体別製造企業の差異と和履き産業集積継続要因.....	43
第5章 和履き産業集積の継続要因（まとめ）	44
謝辞	45
参考文献	46

【図目次】

図 1	研究の構成	1
図 2	製品ライフサイクル理論から見た既往産業集積研究と本研究の相違	2
図 3	一般的な伝統的地場産業集積の産業構造（左図）と和履き産業集積の産業構造（右図）	7
図 4	一世帯あたりの履物類年間購入足数	8
図 5	和履き製造企業と鼻緒製造企業の推移（奈良県三郷町）	8
図 6	和履き製品の主な流通経路 ¹⁾	9
図 7	和履き製品の流通経路（小売店）	9
図 8	和履き製品の主な流通経路（卸売店）	10
図 9	和履き製品と流通経路	11
図 10	健康和履き	11
図 11	和装サンダル	11
図 12	ゴム製和履き	11
図 13	大阪市御蔵跡履物問屋集積（その 1）	12
図 14	大阪市御蔵跡履物問屋集積（その 2）	15
図 15	奈良県上牧和履き産業集積地図（その 1）	16
図 16	奈良県上牧和履き産業集積地図（その 2）	17
図 17	男性サンダル	17
図 18	女性サンダル	17
図 19	奈良県三郷町和履き産業集積地図（その 1・全体図） ¹⁾	19
図 20	奈良県三郷町和履き産業集積地図（その 2・集積部拡大図）	19
図 21	履物問屋と奈良県三郷町和履き製造企業の取引関係	23
図 22	1955 年の流通経路	24
図 23	1968 年の流通経路	25
図 24	2006 年の流通経路	25
図 25	中小零細企業の分業による生産工程（その 1）	28
図 26	中小零細企業の分業による生産工程（その 2）	28
図 27	和履き製造工程の専門化	29
図 28	サンダル製品の製造工程	30
図 29	和履き製造企業の製造品目	30
図 30	新工程（ネーム入れ）	38
図 31	生産工程の簡素化	38
図 32	新素材（表素材）開発	38
図 33	新素材（底素材）開発	38

【表目次】

表 1	カペッキによる柔軟な専門化とフォーディズムの違い	4
表 2	カペッキによる「産業地区」の特徴	4
表 3	ピオリによる「産業地区」の特徴	5
表 4	都市型・農村型産地産業集積の生産特徴	5
表 5	和履き製品の主な流通経路（小売店）	9
表 6	和履き製品の主な流通経路（卸売店）	10
表 7	大阪市御蔵跡地域	12
表 8	大阪市御蔵跡履物問屋の推移	12
表 9	全国履物問屋の推移	12
表 10	履物問屋の主な仕入産地（1950年代）	16
表 11	奈良県上牧町製造卸企業 A 社の会社概要	17
表 12	奈良県上牧町サンダル製造企業の推移	18
表 13	和履き製造からサンダル製造への変遷期	18
表 14	奈良県三郷町鼻緒製造企業の推移	18
表 15	三郷町和履き製造企業の推移	18
表 16	基本的な分析の視点	20
表 17	作業仮説 1.	21
表 18	作業仮説 2.	21
表 19	作業仮説 3.	21
表 20	面接調査概要（その 1）	21
表 21	面接調査概要（その 2）	22
表 22	アンケート概要	22
表 23	自社工程と外注企業の所在地（製造企業）	27
表 24	和履き関連企業の従業員数	27
表 25	取引工程企業数	27
表 26	取引素材企業数	27
表 27	素材企業の品質差と工程企業の技術差	29
表 28	素材企業への製品相談、工程企業への工程指示（相談）の有無	31
表 29	和履き関係者の創業時期	32
表 30	和履き関係者の事業主年齢と後継者数	32
表 31	企業間の取引関係	35
表 32	開発主体別製造企業の主な特徴（その 1）	36
表 33	主なクロス集計項目	37
表 34	開発主体別製造企業の主な特徴（その 2）	39
表 34	開発主体別製造企業の主な特徴（概略版）	40
表 35	開発主体別五分類と製品卸価格の関係 ¹ （正確有意確率 0.000）★★★★	40
表 36	開発主体別五分類と従業員数の関係（正確有意確率 0.067）★	40
表 37	開発主体別五分類と事業主年齢の関係（正確有意確率 0.010）★★	40
表 38	開発主体別五分類と第一流通経路の関係（正確有意確率 0.022）★★	40
表 39	開発主体別五分類と大阪市御蔵跡履物問屋の関係（正確有意確率 0.077）★	41
表 40	開発主体別五分類と奈良県上牧町履物製造卸の関係（正確有意確率 0.106）	41
表 41	開発主体別五分類と東京都台東区履物問屋の関係（正確有意確率 0.059）★	41
表 42	開発主体別五分類と和履き男性デザイン製品の関係（正確有意確率 0.012）★★	41

表 43	開発主体別五分類と生地屋（素材企業）の関係 1（正確有意確率 0.006）★★★	41
表 44	開発主体別五分類と生地屋（素材企業）の関係 2（正確有意確率 0.012）★★	42
表 45	開発主体別五分類と底屋（素材企業）の関係 1（正確有意確率 0.014）★★	42
表 46	開発主体別五分類と底屋（素材企業）の関係 2（正確有意確率 0.001）★★★	42
表 47	開発主体別五分類と販路開拓の関係（正確有意確率 0.001）★★★	42
表 48	開発主体別五分類と工程企業搬入回数（正確有意確率 0.077）★	42
表 49	開発主体別五分類と素材企業納品回数（正確有意確率 0.042）★★	42
表 50	開発主体別五分類とのり屋（素材企業）所在地の関係（正確有意確率 0.044）★★	...	43